

∞ ビラーン族コミュニティーを訪ねて ∞

吉田かをる（東京都）

百聞は一見にしかず。これが私のモットーで、4/19から4/24まで、ビラーン訪問となりました。

どのような形で自分なりの支援ができるか？一退職者の妻の立場としては、高額な資金援助もできず、今のところ、長年の経験を生かして小学生、ハイスクール生徒の制服を縫製して送る程度ぐらいしか思い浮かびません。それにしても、現地のミシン2台が、あまり有効に使われている様子がなく、何とかならないかと大変残念でした。

アトゥモロック、サムラングでは、人々と向かい合って、言葉は通じないはずなのに、お互いを理解しあえるという思いがけない体験を味わって驚きました。心やさしい人々でした。アトゥモロックでは、最近まで食を求めてさまよった時期があったはずなのに、ノノイ神父の配慮からか、食事を整えてくださり、にこやかに勧めてくれる人々のおなかの虫が鳴いているのです。思わず涙ぐみました。

アトゥモロックには2泊しました。雑魚寝で和気あいあいと。ただし、夜半の寒さは、それなりの支度はしていったものの想像外でした。眠れぬままに、窓の下を何気なく見下ろすと、夜警をしてくださっている若者の姿。これも感激です。

アトゥモロックの空に、大きなこいのぼりが泳ぎました（笠井氏贈）。

サムラングでは水道のおかげで下痢患者が少なくなった由。樹間にコーヒー苗を植えたアトゥモロックのアグロフォレストリー現場も見ました。あと5、6年で実がなると、ノノイ神父の嬉しそうなお顔。

畑にしても、生活に必要な量をととても上手に組み合わせて作っている。これは笠井氏からの指摘でした。

人々がごく自然な形で私たちの訪問を受け入れてくださったのは、ビラーンの人々の誇りを傷つけないように、また、自助努力への意欲をそがないようにとの配慮に基づいた HANDS の支援方針によるものと思えました。今後もさりげない形での協力を心がけたいものです。短い期間でしたが、温かな人々に囲まれ、施設を見て回り、この方々の自立支援をさせていただける事に、今私の心は一杯です。最後に、ノノイ神父と奈美さんのご協力を心より感謝いたします。



村のフィエスタを彩ることになる大きな鯉のぼり
村人みんなで準備中（アトゥモロックにて）

∞ 訪問団の皆様をお迎えして ∞

森田奈美（在マーベル町）

今回、笠井さん、吉田さん、山崎さんの3人の方々をお迎えし、サムラング、アトゥモロックの地へごいっしょさせていただき、短い期間でしたが、大変楽しい時間を過ごすことができました。本当にありがとうございます。

サムラング、アトゥモロックは、車でたどり着けるとはいえ、かなり激しいがたがた道です。しかも、アトゥモロックの夜はとても冷え込み、毛布の用意がなかった私たちは着られるものをすべて着込んで、それでも寒くてブルブル震えながら眠りました。皆さん、さぞかしお疲れになられたことと思います。

アトゥモロックに到着してすぐに、笠井さんが持ってきてくださった大きな大きな鯉のぼりを村人たちとたて、その美しく雄大な姿に皆で見とれました。

翌日はこの地ではじめて行われた氏神祭りで、伝統的なゲーム〔競技〕を村人たちは競い合い〔中には日本の相撲や吹矢など似たようなものがありました〕、お昼には素朴な伝統料理の数々で